

令和3年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

「誠実明朗」「自主創造」「友情協力」の校訓のもと、明るく健康で、自らを高め、他人を尊重する人間性豊かな人格の形成をめざす。生徒と教職員との信頼関係をもとにした専門教育を通じて、勤労と責任を重んじ、幅広い技術をそなえた社会人を育成する。

- 1 基礎学力と専門的な技能・技術を修得し、社会の中で主体的に生きる力を育てる。
- 2 協調性、規範意識を身につけ、周囲から求められる社会人を育てる。
- 3 地域社会の中での存在意識を高め、生徒が誇りをもてる学校づくりを進める。

2 中期的目標

- 1 社会の中で主体的に生きる力を育てる
 - (1) 基礎的・基本的な学力の育成
 - ア ICT活用（新型コロナウイルス感染症に対する長期的な対応を含む）を進め、基礎学力の充実を図る。
 - イ 授業内容・授業形態の工夫により授業改善を図り、確かな学力を身につけさせる。
 ※生徒向け学校教育自己診断における「授業に関する満足度」の肯定率80%以上をめざす。(H30年度83.0%、R01年度81.8%、R02年度64.1%)
 - (2) 資格取得に対する意欲を高め、主体的に自己の将来を切り拓く能力を育成。
 - ア 各種の資格取得を勧め、学習意欲の喚起と有用な技能取得を図る。
 ※卒業生の資格取得率100%（一人一つ以上）を維持する。(H30年度94.1%、R01年度100%、R02年度100%)
 - (3) 在学中の就労を促進するとともに、生徒の希望する進路実現の支援体制の充実。
 - ア 未就労生徒に対して、個別指導と個別支援による就労促進を行う。
 - イ キャリア教育、職業教育を充実させ、社会で自立できる力を育成する。
 - ウ 自己の個性や適性を理解し、主体的に進路を選択する能力や態度を育成する。
 ※学校斡旋就職を支援し、正規就職希望者90%以上、就職内定率100%を維持する。
(正規就職希望者 H30年度93.3%、R01年度100%、R02年度100% / 就職内定率 H30年度100%、R01年度100%、R02年度100%)
- 2 周囲から尊敬される社会人を育てる
 - (1) 授業規律の確立
 - ア 組織的な指導体制により、良好な学習環境と授業規律の確立を図る。
 ※生徒向け学校教育自己診断における「良好な学習環境」の肯定率80%以上をめざす。(H30年度77.5%、R01年度75.0%、R02年度76.9%)
 - (2) 協調性や社会性の育成
 - ア 魅力ある学校行事、部活動を振興し、学校生活の魅力を高め、集団活動への参加促進を図る。
 - イ SNS等インターネット上や学校生活及び感染症に起因する偏見や差別を許さない人権を尊重する教育を推進する。
 ※1年次生の進級率70%以上をめざす。(H30年度92.3%、R01年度61.5%、R02年度87.5%)
- 3 誇りをもてる学校づくり
 - (1) 地域連携を進め、学校への高い評価を獲得
 - ア 地域活動・公開講座の実施など、地域から見える特色ある学校の取組みを推進する。
 ※生徒向け学校教育自己診断「授業や部活動などで保護者や地域の人々が参加される機会がある」における肯定率70%以上をめざす。
(H30年度63.4%、R01年度69.4%、R02年度参加機会なし)
 - (2) 広報活動により、学校の取組みを広く伝える
 - ア 学校ホームページの充実、地域への広報を積極的に展開する。
 ※学校見学会、公開講座等への参加者について、年間延べ50名以上を維持する。(H30年度54名、R01年度60名、R02年度評価せず)
 - (3) 人材育成により、優れた教育の提供
 - ア 生徒のニーズに合致した、特色ある教育課程と優れた指導体制づくり。
 ※保護者向け学校教育自己診断における「本校の特色ある取組み」の肯定率90%以上を維持する。(H30年度91.7%、R01年度85.7%、R02年度100%)
※新教育課程（R04年度より実施）による指導体制の確立をめざす。
- 4 働き方改革への取組み
 - (1) 分掌・委員会等の会議の目的を明確化し効率を図る
 - ア 会議資料のデータ化、ICT活用による効率的な運営を図る。
 - (2) 定時退庁の促進、一斉閉庁日の活用ならびに有効な休暇取得の促進
 - ア 教職員の業務の負担軽減化・分散化を図り、健康増進・ストレス軽減に向け、働きやすい職場環境を実現する。
 - イ 各種ハラスメント防止に対する意識の啓発を図る。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和3年 月実施分]	学校運営協議会からの意見

3 本年度の取組内容及び自己評価

府立茨木工科高等学校 定時制の課程

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標[R2年度値]	自己評価
1 社会の中で主体的に生きる力を育てる	<p>(1) 基礎的・基本的な学力の育成 ア ICT の効果的な活用と基礎学力の充実 イ 授業改善による確かな学力の獲得</p> <p>(2) 資格取得に対する意欲を高め、自己の将来を切り拓く能力の育成 ア 各種の資格取得を勧め、学習意欲の喚起と有用な技能取得を図る。</p> <p>(3) 正規就職の拡大 ア 個別の指導・支援による就労指導</p>	<p>(1) ア①ICT 機器等の活用により、主体的・対話的な授業となるよう授業改善を行う。また、教材の共有化を図り、授業準備等の業務負担軽減を行う。 ②授業における確認テスト等を実施し、基礎学力の定着をめざす。 イ①わかる授業・できる授業をめざし、視聴覚教材を活用し、生徒の学習意欲を持たせる授業を行う。</p> <p>(2) ア①溶接技術、CAD、計算技術等、授業内容と関連した資格取得への指導(講習・個別指導)を充実させる。 ②3級自動車整備士試験合格をめざす。(対象1名)</p> <p>(3) ア①求人開拓、個別指導を継続的に実施・強化し、正規就職できるよう支援を行う。 ②将来のキャリアを見通した進学指導を行う。</p>	<p>(1) ア①生徒向け学校教育自己診断「ICT を用いた授業が実施できている」における肯定率 80%以上を維持する。[89.7%] ②生徒向け学校教育自己診断「授業が楽しく分かりやすい」における肯定率 80%以上をめざす。[64.1%] イ①・教員向け学校教育自己診断「思考力を重視した問題解決的な学習指導を行っている」における肯定率 70%以上をめざす。[64.0%] ・教員向け学校教育自己診断「生徒の学習意欲に応じて、学習指導の方法や内容について工夫している」における肯定率 90%以上をめざす。[84.0%]</p> <p>(2) ア①各種資格取得を奨励し、資格取得生徒の増加を図る。卒業年次の生徒の 100%を維持する。[100%] ②3級自動車整備士試験合格をめざす。 [対象なし]</p> <p>(3) ア①・応募前職場見学 100%維持 [100%] ・正規就職希望者 80%以上 [100%] ・就職内定率 90%以上 [100%] ②進学希望者の合格率 80%以上 [対象なし]</p>	
2 周囲から尊敬される社会人を育てる	<p>(1) 授業規律の確立 ア 組織的な指導体制と良好な学習環境、授業規律の確立 イ 生徒が主体的に授業に参加し、集中して取り組む姿勢を育成</p> <p>(2) 協調性や社会性の育成 ア 学校生活の魅力を高め、集団生活への参加を促進 イ 偏見や差別を許さない人権尊重の教育を推進。</p>	<p>(1) ア①全教職員による生活指導体制を確立し、良好な学習環境を維持する。 ②規範意識、社会性育成のための講座、ICT 機器の利活用を通して情報活用能力等を養成し、社会人としてのマナーやモラルを主体的に身に付けさせる。 ③高校生活支援カードを活用し、家庭及び中学校・外部機関との連携を深め、きめ細かい支援体制を充実し、学校生活に定着させる。また、学校訪問等により教育内容を周知させる。 イ①授業中の発表や話し合いの機会を多くする。</p> <p>(2) ア①部活動を活性化し、積極的な参加を促す。 ②生徒秋季発表大会への参加を通して、生徒の能力を引き出す。 イ①日々の指導の中で、学校内外における人権尊重の意識を醸成する。</p>	<p>(1) ア①・生徒向け学校教育自己診断「教室・特別教室・運動場などは授業や生活がしやすいように整備されている」における肯定率 80%以上をめざす。[76.9%] ・生徒向け学校教育自己診断「先生は責任をもって授業やその他の仕事に当たっている」における肯定率 90%以上をめざす。[76.9%] ②生徒向け学校教育自己診断「授業などで、豊かな心や人の生き方について考える機会がある」における肯定率 80%以上をめざす。[77.1%] ③・中高連絡会参加、学校訪問 25 校以上を維持する。[35 校] ・欠席の多い生徒(年間 30 日以上) 8 名以下 [5 名] ・年間退学者 7 名以内 [5 名] ・懲戒件数 5 件以下 [4 件] ・1 年次生の進級率 [87.5%] イ①生徒向け学校教育自己診断「授業で自分の考えをまとめたり、発表したりする機会がある」における肯定率 60%以上を維持する。[64.1%]</p> <p>(2) ア①・生徒向け学校教育自己診断「部活動に積極的に取り組んでいる」における肯定率 60%以上をめざす。[56.5%] ・運動部においては、定通実業総体出場をめざす。[感染症拡大により中止] ②秋季発表大会の参加を維持する。 ・生活体験発表 [不参加] ・舞台発表 [不参加] ・展示発表 [写真部出展]</p> <p>イ①・生徒向け学校教育自己診断「人権について学ぶ機会がある」の肯定率 80%以上をめざす。[74.3%] ・保護者向け学校教育自己診断「学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んで</p>	

府立茨木工科高等学校 定時制の課程

			いる」における肯定率 100%を維持する。 [100%]	
3 誇 り を も て る 学 校 づ く り	<p>(1)地域連携の促進 ア 地域から見える特色ある学校の取組みを推進。</p> <p>(2)広報活動の展開 ア 学校の特色を広く伝える活動を展開。</p> <p>(3)優れた教育環境の提供 ア 生徒のニーズに合致した特色ある教育課程と指導体制づくり。 イ 安全安心な学校づくり</p>	<p>(1) ア①生徒会活動を伴う地域連携活動の模索。 ②小学生対象の「夏休み工作教室」の実施。 ③市内幼稚園・保育所(園)等への実習作品の寄贈を継続する。</p> <p>(2) ア①学校行事を保護者ならびに地域に公開し、広報活動を展開する。 ②保護者・生徒のニーズに合致した学校ホームページの改善。</p> <p>(3) ア①工業系科目の充実を図り、生徒が意欲をもって取り組める教育課程の編成を進める。 ②校内授業相互見学、研究授業参加、専門研修派遣を実施し、授業力向上と指導内容の改善を図り、優れた学習環境をめざす。 ③各種会議等を通して、生徒状況の把握をし、授業改善をめざす。 イ①防犯・防災訓練、交通安全教室等の実施 ②校内安全点検の実施</p>	<p>(1) ア①・生徒向け学校教育自己診断「授業や部活動などで保護者や地域の人々が参加される機会がある」における肯定率 70%以上をめざす。[感染症拡大により参加機会なし] ②「夏休み工作教室」の参加者 20 名以上。 [感染症拡大により工作教室中止] ③実習作品の寄贈 5 件以上を維持。[7 件]</p> <p>(2) ア①・学校行事(体育祭・文化祭)等への保護者・地域住民の参加者延べ 50 名以上を維持する。[感染症拡大により参加機会なし] ・保護者向け学校教育自己診断「授業参観などの学校行事に参加した」における肯定率 70%以上をめざす。 [感染症拡大により参加機会なし] ②ホームページ更新(教員・准校長ブログ発信を含む)による情報発信年間 80 回以上を維持する。[105 回]</p> <p>(3) ア①・生徒向け学校教育自己診断「この学校には、他の学校にない特色がある」における肯定率 85%以上をめざす。[79.5] ・保護者向け学校教育自己診断「この学校は、他の学校にない特色ある教育活動に取り組んでいる」における肯定率 90%以上を維持する。[100] ②・教員向け学校教育自己診断「学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている」における肯定率 90%をめざす。 [84.0%] ・教員向け学校教育自己診断「学校内で他の教員の授業を見学する機会がある」における肯定率 100%をめざす。[94.0%] ③・教員向け学校教育自己診断「各種会議が、教職員間の情報交換や意見交換の場として有効に機能している」における肯定率 90%をめざす。[80.0%] イ①生徒向け学校教育自己診断「災害時の行動について知らされている」における肯定率 90%以上をめざす。[66.7%] ②産業医による校内巡回点検(年 2 回)および機械工場、自動車工場の定期点検の実施により、安全な学習環境を保持。[すべて実施]</p>	
4 働 き 方 改 革 へ の 取 組 み	<p>(1)会議の目的を明確化し効率化を図る ア 会議資料のデータ化、ICT 活用による効率的な運営</p> <p>(2)定時退庁の促進及び有効な休暇取得の促進 ア 働きやすい職場環境づくり イ ハラスメント防止に対する意識の啓発</p>	<p>(1) ア①情報の共有を進め、業務の効率化を図る。</p> <p>(2) ア①業務の分散化を図り、健康増進・ストレス解消に向け、働きやすい職場環境を実現する。 イ①各種ハラスメントについて責任ある行動を求める。</p>	<p>(1) ア①教員向け学校教育自己診断「各分掌や学年間の連携が円滑に行われ、有効に機能している」における肯定率 90%以上を維持する。 [92.0%]</p> <p>(2) ア①教員向け学校教育自己診断「教職員の適正・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取り組める環境にある」における肯定率 90%をめざす。 [84.0%] イ①・教員向け学校教育自己診断「教職員間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている」における肯定率 90%以上を維持する。[96.0%] ・教員向け学校教育自己診断「この職場においては、教職員の服務規律への自覚が高い」における肯定率 100%をめざす。[91.7%]</p>	